

議会報告会（H25.5開催分）に関するアンケート調査結果

調査概要

【調査目的】

開かれた議会に向けた取り組みの一つとして、市民の率直な意見及び要望を把握し、今後の取り組みの参考にしていくことを目的に実施。

【調査対象】

議会報告会（H25.5開催分）の参加者

- ・ 6日間の延べ参加者： 128人（受付簿記載者）
- ・ アンケート協力者： 108人（協力者率：84.3%）

日	地区	場 所	担当班	参加人数
5月12日	城北	玉水会館	2班	11人
5月14日	西紀北	しゃくなげ会館	3班	23人
5月15日	岡野	岡野文化会館	1班	23人
5月16日	古市	古市コミュニティ消防センター	3班	18人
5月23日	城南	コミュニティセンター城南会館	1班	23人
5月24日	大芋	大芋公民館	2班	30人
合 計				128人

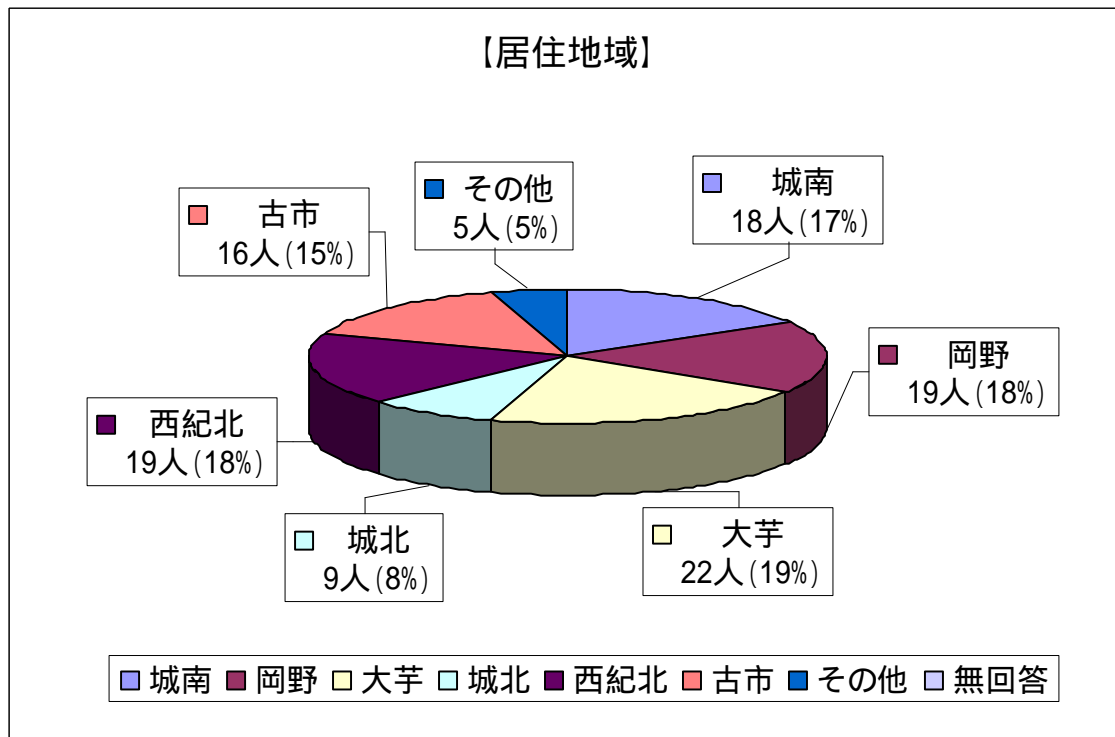
【調査項目】

1. 参加者の属性…………… 2～3頁
2. 取り組み（議会報告会）の評価…………… 4～7頁
3. 議会報告会情報の入手状況…………… 7頁
4. 自由記述…………… 8～9頁

1. 参加聴者の属性

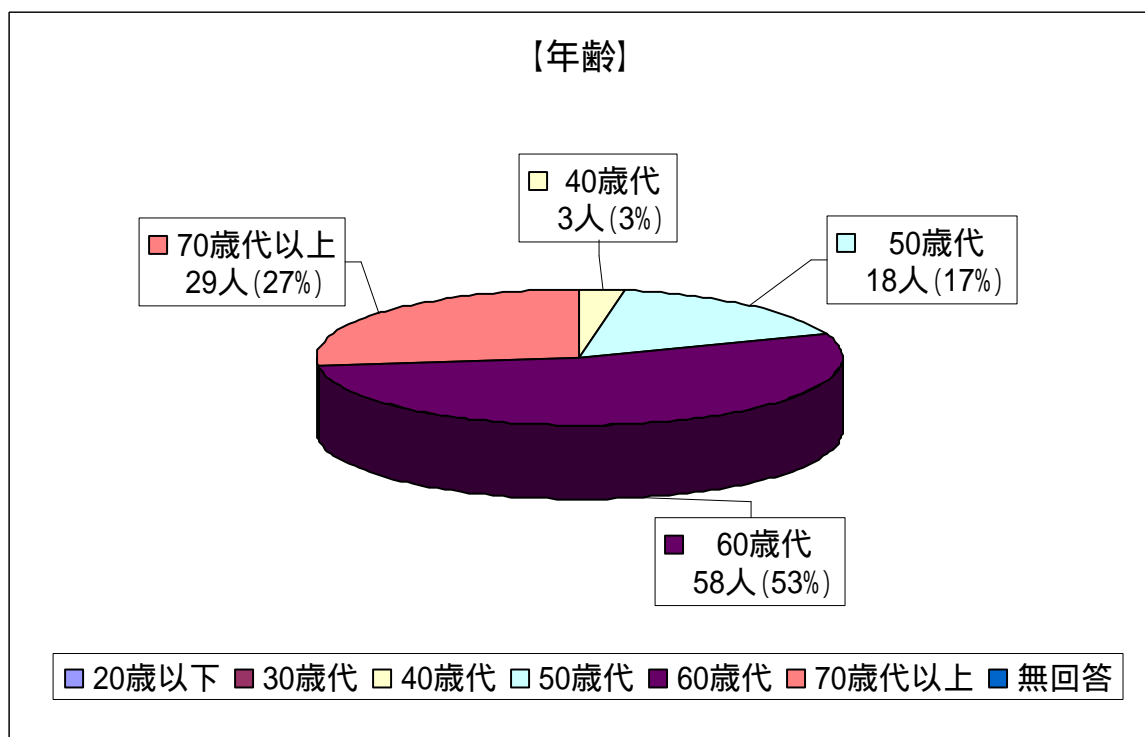
【居住地】

- ・基本的には開催地区の居住者の参加がほとんどであった。



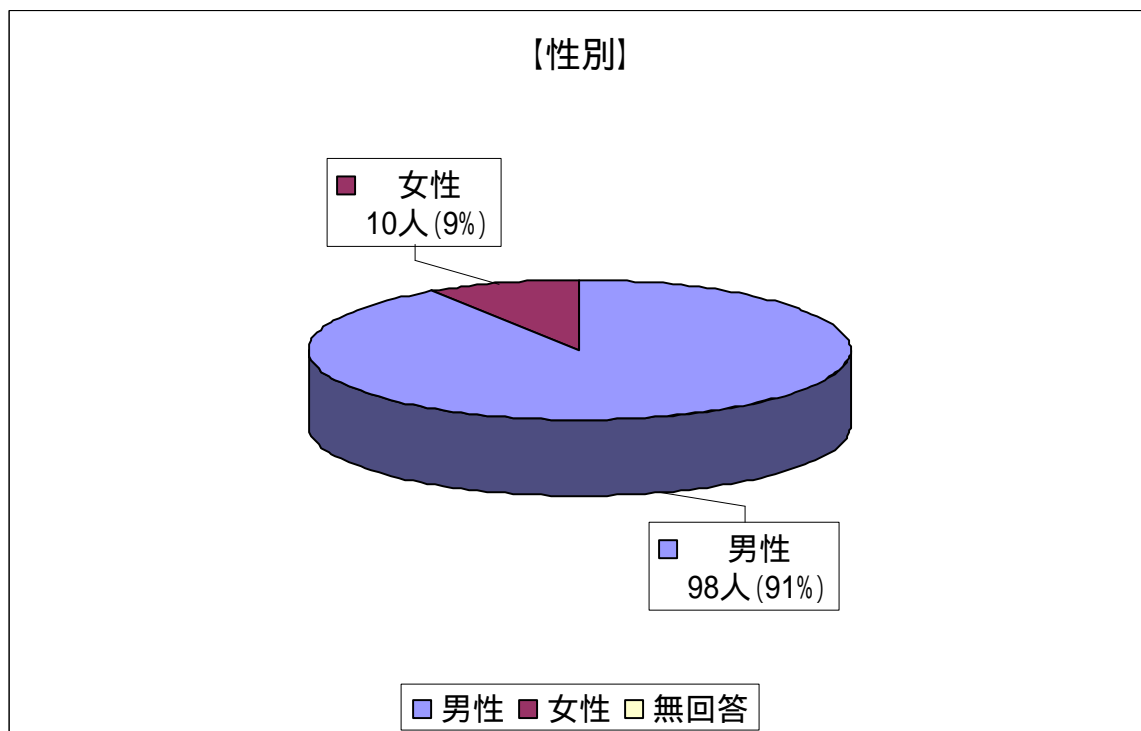
【年齢】

- ・60歳代が5割強で最も多く、50～70歳代以上に集中している。



【性別】

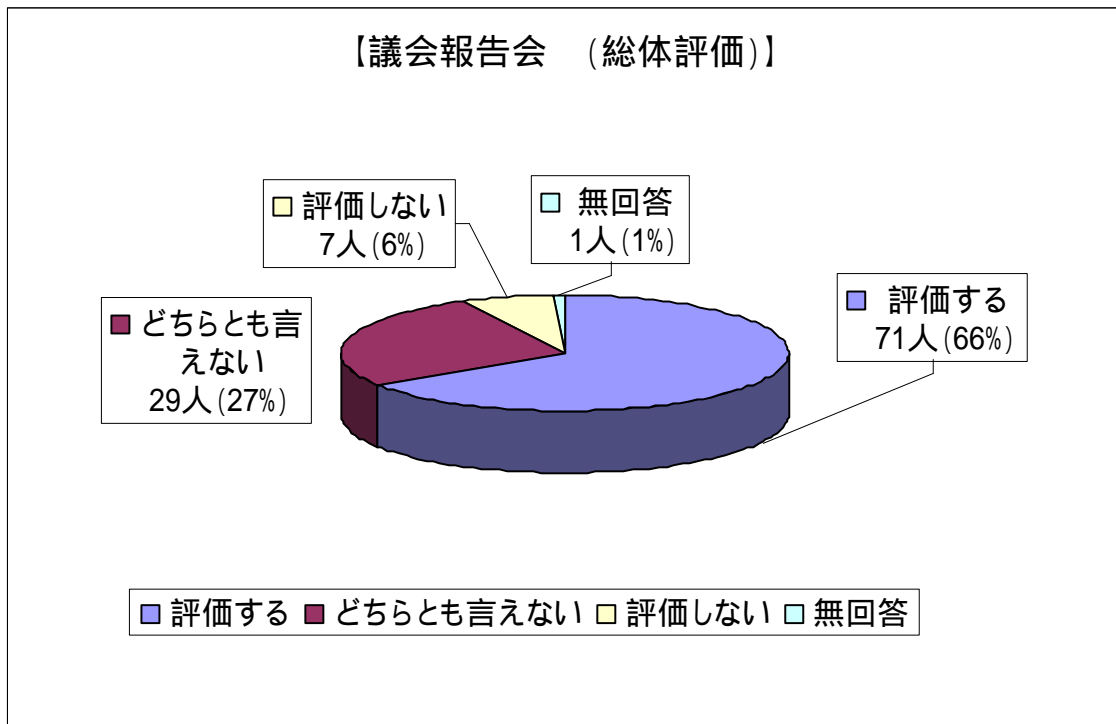
- ・「男性」が約90%とほとんどが男性となっている。



2. 取り組みの評価

【議会報告会に対する評価】

- ・「評価する」が6割強となっており、概ね良い評価をいただいている。一方、「幅広い意見を聞けるようにしてほしい」「もっと実質的な討議を望む」「よく分からない点、はっきりしない点が多い」等の注文意見も挙がっている。

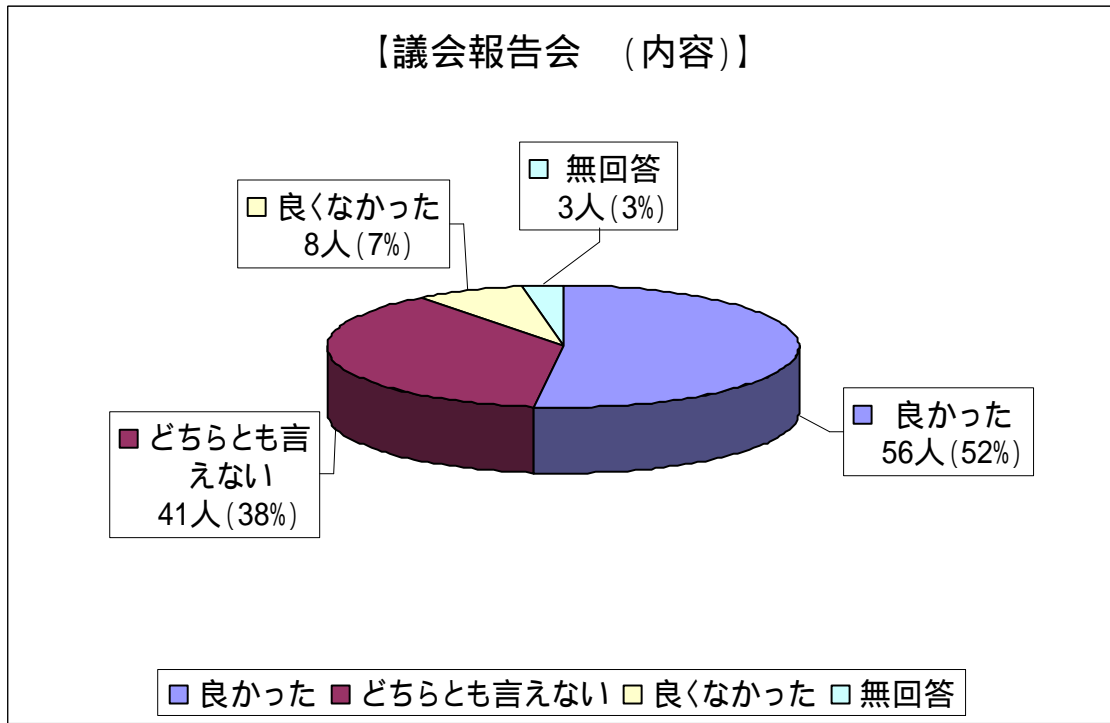


(どちらとも言えない、評価しない理由 要約・抜粋)

- ・検討することが多く、具体性にかける。
- ・よく分からない点、はっきりしない点が多い。
- ・一般的な報告で議会広報紙と変わらない。
- ・形ばかりの感が強く、もっと実質的な討議を望む。
- ・委員会で討議された内容を示してほしかった。
- ・幅広い意見を聞けるようにしてほしい。
- ・市民の参加が少ない。
- ・個人的な報告会はあったが、全般的な報告会は初めてであり、今後も続けて欲しい。
- ・人気取りにすぎない。

【議会報告会の内容について】

- ・「良かった」が約5割となっている一方、「テーマを設定した方がよい」「もう少し掘り下げてほしい」「フォローしてもらおうことが大切」等の意見が挙がっている。

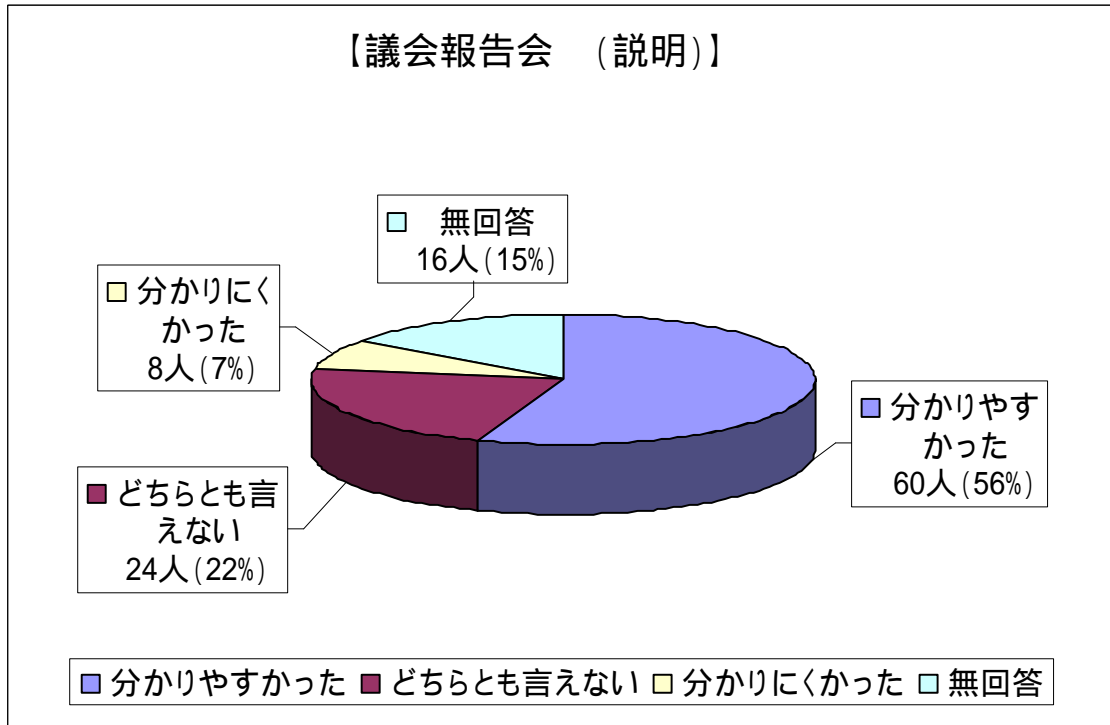


(どちらとも言えない、良くなかった理由 要約・抜粋)

- ・内容が分かりにくかった。どのような議論か話してほしかった。
- ・課題を絞り、議会としての対応の説明が必要では。
- ・テーマを設定した方がよい。
- ・もう少し掘り下げてほしい。
- ・もっと責任ある答弁を願いたい。
- ・あまり良い返事がなく分かりにくかった。
- ・フォローしてもらおうことが大切。
- ・報告が長すぎる。

【議会報告会の説明について】

- ・「分かりやすかった」約5割となっている一方、約3割が「どちらとも言えない」「分かりにくかった」との結果となった。「どちらとも言えない」「分かりにくかった」の主な理由は、下記の通り。

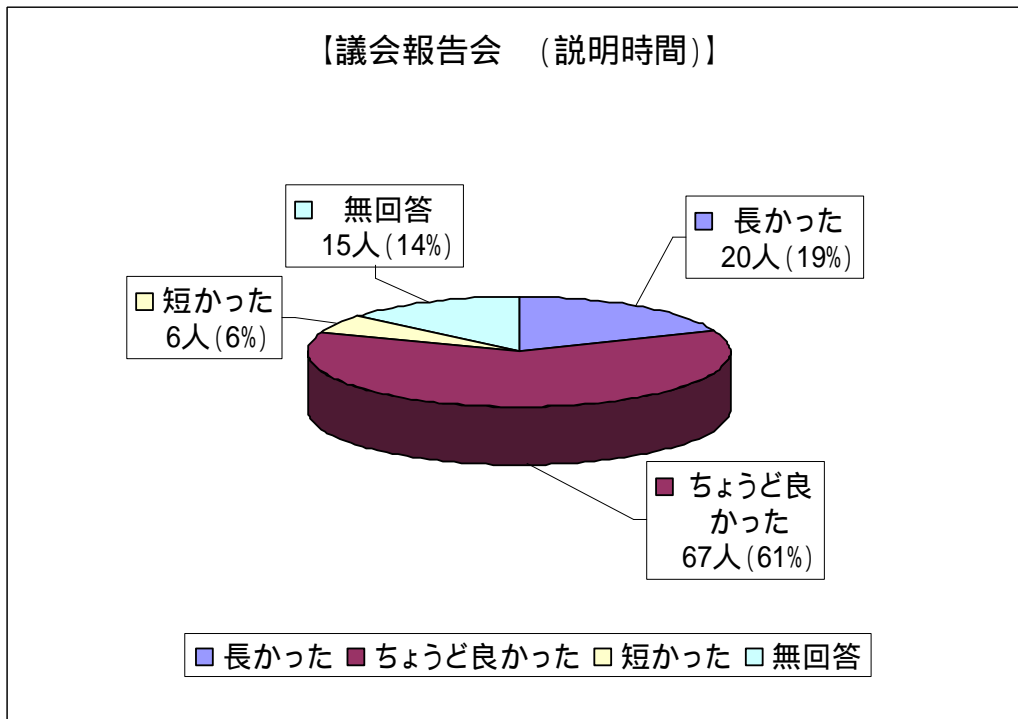


(どちらとも言えない、分かりにくかった理由 要約・抜粋)

- ・資料をそのまま読んでいるようである。要点及び資料に出ていない部分の説明をお願いしたい。
- ・例をあげて説明してほしい。
- ・説明が長すぎる。もっと簡潔にされた方がよいのではないか。
- ・議員の閉会中の活動が分かりにくかった。
- ・繰り上げ償還等、間違った説明もあったように思う。
- ・説明を受けても明確な答えが見えてこない。
- ・指し棒やレーザーポインターを使用する等、分かりやすく。
- ・事前質問について、関係機関との連携が必要。
- ・一人で長時間質問している人のコントロールが不足していた。

【議会報告会の説明時間について】

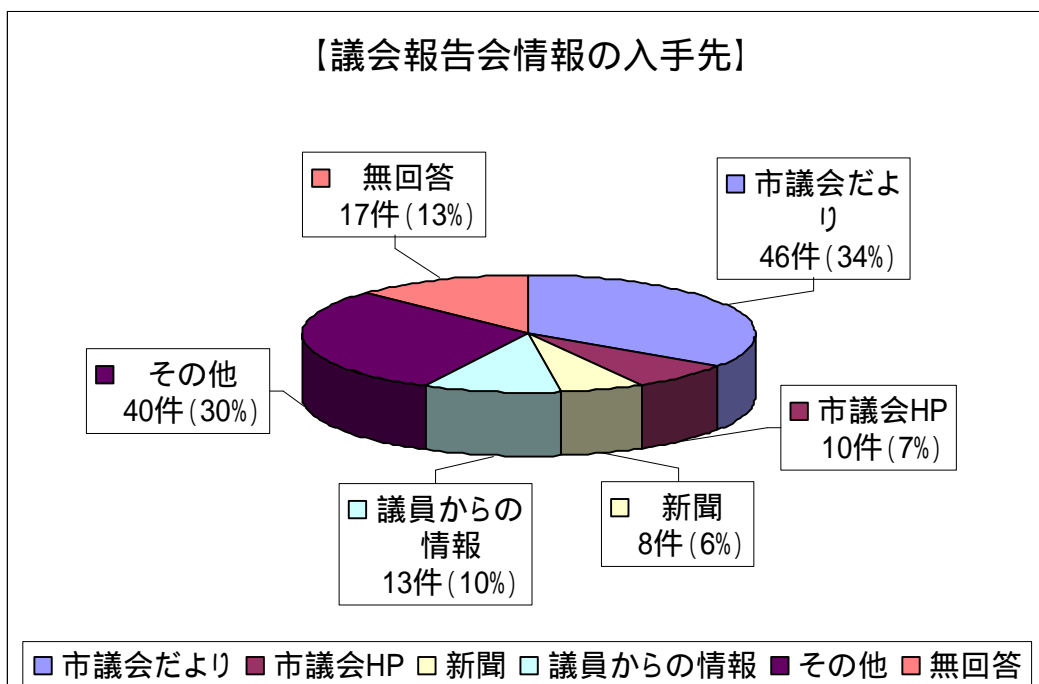
・約6割弱の方が「ちょうど良かった」となっている一方、約2割が「長かった」となっている。



3. 議会報告会情報の入手状況

【議会報告会情報の入手先（複数回答）】

・報告会の開催情報の入手については、「市議会だより」とともに「その他」中の「自治会・まちづくり協議会」が大部分を占めている。



4 . 自由記述

【ご意見・ご感想（要約・抜粋）】

（議会報告会について）

- ・議員の存在を身近に感じることができました。これからも偉そうぶるのではなく、篠山が明るく住みよい場所でありますように共に頑張ってもらいたい。
- ・議会報告会も地元の議員ではなく、全体を考え、篠山市全体を知るべきと今まで思っていましたので、良い機会と思いました。今後も顔の見える議会を続けていくべきと思います。
- ・報告会は、今後の議会運営に大きなプラスになるとともに、住民にとっても篠山をよくしようとする機運が盛り上がる足がかりになると考えることもあり、続けてほしい。
- ・議会の様子がよく分かりました。が、少し難しいと感じる部分もありました。
- ・意見が出たことは責任ある討議をしていただきたい。
- ・要望や意見を持ち帰って議論するとのことであるが、その結果は開示されるのか。
- ・全会場の意見等を取りまとめ、議会だより等でフィードバックを願います。
- ・一人あたりの質問時間を制限し、できるだけ多くの話ができるように進行してほしい。
- ・せっかくの機会なのに一般の参加者が少ない。今後、PR方法を検討されたい。
- ・住民も多く参加し、どしどし意見を述べるべき。次回は、もう少し、参加者が増えることを願っています。

（議会について）

- ・議員の期末手当の原案可決について、市民の考えと大きな隔たりがあると思います。
- ・期末手当の一律10%削減について、若い議員には厳しいのではないかと。報酬以外の所得に応じた個人毎の削減が必要。
- ・篠山市発展のためのご苦労が伺える中での期末手当の削減等について、あまり手当が少なくなると、若手議員のなり手がなくなるのではないかと。思います。
- ・議員定数も少なくなり大変かと思いますが、今後も市のための議員活動をお願いします。
- ・議員定数や期末手当等について、議員が自分で決めるのではなく、学識者等による決定はできないか。
- ・市民全体の想いを受け止め、チェック機能を発揮してほしい。
- ・各地域の議員ではないので、できるだけ多くの議員が地区に足を運んでいただき、広い目で見つめてほしいと思います。
- ・地域の特性を考えた議会活動をお願いします。
- ・通年開催すべき。
- ・議会だよりやHPで委員会の情報をもっと公開してほしい。
- ・情報発信のあり方で必ずしもネットが有効か。
- ・議会だよりについて、コスト面から市広報に統一できないか。

(その他)

- ・市の財政も厳しい中ですが、よりよい運営を期待する。
- ・財政的にも大変なことは分かるが、もっと積極的な予算を望む。ソフト面だけでは、若者は定着しない、活性化に結びつかない。
- ・市職員縮減やそれに伴う臨時・非常勤職員増、給与削減は、サービスの低下、職員のモチベーション低下につながっているように思います。
- ・臨時職員の人数を正確に把握されているのか。少ない職員で業務がなされているのか。
- ・業務の密度に応じた効率的な人の配分を行うことにより、経費を削減することが可能ではないか。議会として市に管理を十分に行うように指導してほしい。
- ・企業誘致があまり進んでいないように思う。地元の若者の雇用促進に繋がるようにさらに取り組んでほしい。
- ・現在は、「医療と介護」をキーワードにした福祉が大切な時代であり、市内病院の医療技術レベルアップするためにも優秀な医者と看護師、スタッフが必要。億単位の機械も必ず必要であり、特別会計から補助金を出して、市民の安心できる医療を目指してほしい。
- ・原発事故の影響について、議会の考え方は。